



たかかなぼろ

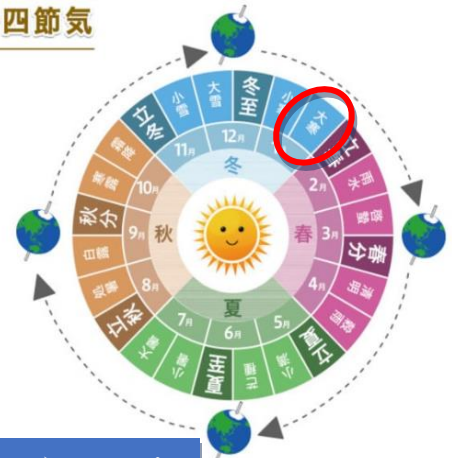


綾川町立羽床小学校

「暦（こよみ）の上では春（はる）」

寒い日が続いています。昔の人は1年で一番寒いこの時期を「大寒（だいかん）」と呼びました。今年（ことし）は1月20日から2月3日までとなります。昔は暖房（むかし だんぼう）といってもこたつくらいしかありません。こたつにもぐりこんで、春（はる）が来るのをじっと待（ま）っていたのです。この大寒（だいかん）が終わるのが2月3日です。そこでこの日を「季節（きせつ）の分かれ目（わかれめ）」ということで「節分（せつぶん）」と呼びました。そして節分の翌日（よくじつ）、2月4日は「立春（りっしゅん）」となります。この日は名前（なまえ）の通り、春（はる）が始（はじ）まった1日目（いちにち）となります。季節（きせつ）の分かれ目（わかれめ）は年（ねん）に4回（かい）あるのに、なぜ冬（ふゆ）から春（はる）になるときだけが「節分（せつぶん）」という言葉（ことば）として残（のこ）ったのでしょうか。それは寒（さむ）さを含（ま）んしていた冬（ふゆ）から、命（いのち）が始（はじ）まる春（はる）が来（く）るといふことで、冬（ふゆ）から春（はる）への変（か）わり目（め）はとて大（たい）切（せつ）だからです。冬（ふゆ）眠（ねむ）っていた動物（どうぶつ）は目（め）ざめま（た）す。卵（たまご）で冬（ふゆ）を越（こ）した生き物（いきもの）は、卵（たまご）からかえりま（き）す。草（くさ）や木（き）も新（あたら）しい芽（め）が伸（の）びてきま（す）。そして私（わたし）たち人（にん）間（げん）も春（はる）は新（あたら）しいスタートとな（り）ま（す）。卒（そつ）業（ぎょう）して中（ちゅう）学（がく）校（こう）に進（しん）学（がく）したり上（か）の学（がく）年（ねん）に進（しん）級（きゅう）したり、大（おとな）人（にん）は就（しゅう）職（じやく）して仕（し）事（ごと）を始（はじ）めたりしま（す）。だから冬（ふゆ）から春（はる）へ（の）節分（せつぶん）が大（たい）事（じ）にさ（さ）れたそ（う）です。節分（せつぶん）の日（ひ）は豆（まめ）をま（ま）いたり、恵（え）方（ほう）巻（まき）（えほうまき）を食（た）べたりする家（か）庭（てい）も多（おほ）いのではないで（し）ょうか。それは、病（びょう）気（き）や災（さい）害（がい）を鬼（おに）にた（た）とえ（て）、悪（わる）い鬼（おに）が来（き）ないよ（う）に願（ねが）ってま（ま）くの（で）す。「鬼（おに）は外（ぐわい）」とい（う）のは、悪（わる）い病（びょう）気（き）や災（さい）害（がい）が起（お）きないよ（う）に追（お）い払（はら）い、福（ふく）を呼（よ）ぶた（た）め（の）かけ声（こゑ）で（す）。自（じ）分（ぶん）の心（こゝろ）の中（なか）に追（お）い出（だ）したい鬼（おに）が（い）るなら、「鬼（おに）は外（ぐわい）」の（こゑ）声（こゑ）ととも（に）、追（お）い出（だ）してしま（い）ま（し）ま（し）ょう。ま（ま）さに「鬼（おに）は外（ぐわい）」は自（じ）分（ぶん）の心（こゝろ）を新（あたら）しくして「けじめ」をつ（つ）けるた（た）め（の）かけ声（こゑ）な（な）ので（す）。

二十四節気



にじゅうしせつき

「けじめ」とは守（まも）らなければならぬ区（く）別（べつ）、心（こゝろ）のスイ（き）ッ（か）チの切（き）り替（か）えのこ（こ）とで（す）。「今（いま）何（なに）をす（す）るときか」が分（わ）か（か）つて行（こう）動（どう）でき（き）てい（い）る人（ひと）は「けじめのある人（ひと）」とい（い）うこ（こ）とにな（な）りま（ま）す。た（た）とえ（え）ば、授（じゅ）業（ぎょう）中（ちゅう）、今（いま）は話（わ）を聞（き）くとき（とき）だ（だ）とわ（わ）か（か）つてい（い）る人（ひと）は、話（わ）を眼（め）や心（こゝろ）で聞（き）いてい（い）るの（の）で（で）、顔（かお）がし（し）っか（か）り（り）と話（わ）す人（ひと）の（の）方（かた）を向（む）いてい（い）ま（ま）す。よ（よ）く考（かん）え、考（かん）え（え）た通（とお）りのこ（こ）とが（が）でき（き）るこ（こ）と、こ（こ）れ（れ）がけ（け）じ（じ）め（め）で（で）す。ぜ（ぜ）ひ、け（け）じ（じ）め（め）の（の）あ（あ）る生（せい）活（かつ）を心（こゝろ）が（が）け、楽（たの）しく元（げん）気（き）な毎（まい）日（にち）を過（す）ごして（して）く（く）だ（だ）さ（さ）い。

児童の活動のようす等

アスリート全国学校派遣プロジェクト『アスリーチ』

1/10(水)、元バルセロナオリンピックの400m、4×400mリレー競技に出場した現政治家兼明治大学競技部コーチの渡邊高博さんが羽床小の5,6年生に陸上の指導をしてくださいました。速く走るにはどうするか等のアドバイスを見本を示しながら説明され、児童は、見よう見まねで練習に取り組みました。最も強調されていたのは、「姿勢」のこと。しっかりと背筋を伸ばした姿勢を日常でも走る時も体操する時も意識しようということでした。確かに50歳を越えても姿勢が美しいフォームは健在で、児童ともども教員も刺激を受けました。「本物」はやはり違います。



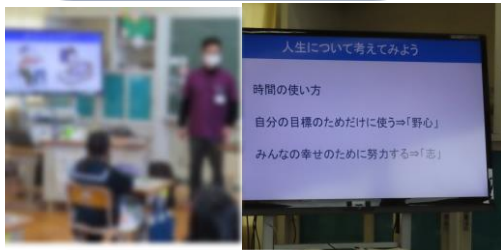
いのちの先生；介護福祉士

1/15(月)、4年生の総合の時間に幸楽苑：介護福祉士の近江さんから講話をいただきました。介護・人生・認知症に関する内容で日常やこれからの高齢化社会について考えさせられる内容でした。特に全校生にも参考になる内容を下に示してみます。

・～人生について～

- ⇒① 志が芽生えたと
- ⇒② 人として「いい思い」が浮かぶ
- ⇒③ 「良い行動」をしたくなる
- ⇒④ 「良い習慣」が身についてくる
- ⇒⑤ 「良い人間」になっていく
- ⇒⑥ 「良い運命」が巡ってくる
- ⇒⑦ 「良い人生」が歩め、「周りの人を幸せ」にできる

・～2025年、認知症患者が700万人、5人に1人が75歳以上の社会に突入。



1月の「ある昼休み」

1月のある昼休み、寒い中でも運動場で鬼ごっこをしていました。学年関係なく楽しそうに駆け回る姿にほっこりさせられました。みんな仲がいいのは、羽床ならではの光景かもしれません。



大谷選手からグローブ寄贈

1月中旬、メジャーリーガー大谷翔平選手寄贈グローブ3個が届きました。ランチルームで披露し、大谷選手からの手紙も紹介『野球しようぜ!』。今後、全員がグローブを見たり使ったりできる場を設け、休み時間等に有効活用する予定です。



リサイクル活動 11/25 収支決算

リサイクル活動へのご理解・ご協力ありがとうございました。再生資源代金の総計は、25,365円。内、こども園へ7,609円、小学校PTA・育成会に17,756円それぞれ分配させていただきます。収益は、今後の教育活動に有効利用させていただきます。

6年生の校歌の替え歌（歌詞）

卒業を控えた6年生が音楽の授業で、6年間の振り返りの思い出を校歌の歌詞を替えて表現しました(1:低学年 2:中～高学年 3:6年間 4:中学生になったら)。児童4人の作品を紹介します。

【2月のおもな行事】

- 2日(金) 学習参観、家庭教育学級
- 5日(月) 校内縄跳び大会
- 8日(木) 劇団四季鑑賞(6年)
- 25日(日) 綱引き大会(綾川町総合運動公園)

- 1 いよいよ入学 小学校 ワクワドキドキ楽しみだ
国語に算数ががんばるぞ 宿題しないといけないな
まだまだ長い6年間 ♪
- 2 コロナで生活 変わったが 勉強だけは変わらない
困った全然わからない でもでも私は上級生 みんな
のお手本 頑張るぞ ♪
- 3 いろんな思い出よみがえる 心も体も成長だ 頭も少しは成長か
とにかく羽床が大好きだ ずっと仲よし友達だ ♪
- 4 わくわくドキドキ中学生 忘れ物ないかチェックだぞ
クラスの人たち誰だろな ワクワドキドキ止まらない
勉強やらなきゃ がんばるぞ! ♪